



梅の花（上揚）

うたごよみ
— 弥生 —

「短歌」

渡辺幸士 選

唐突に君は黄泉へと旅立ちぬ触れたる頬の未だ温かし
上村やす美

すれ違いに挨拶しても思い出せず健忘症も実感となる
内田乃武子

村辻を百年守りし櫺の樹は世の開発に終の日迎ゆ
井上ユリ子

外国の孫を迎えて子や孫に曾孫もこそり正月の宴
上村 かず

温泉の香り漂う露天風呂山近々と冬晴れの阿蘇
吉永由紀子

賀状には表も裏も活字だけ添え書きありて顔の浮かべり
内山タミエ

春はもう一步一步と近づけり露の根元をしぼし眺むる
緒方 明美

静寂のなかに鳴く鳥声高く社の木立ちは揺らぐことなし
赤星 延子

年頭に孫子集まり賑やかに笑顔に満ちて吾も笑顔に
赤星 文子

いつとなく耳に住み付く蝉の声冬の旅まで付いて来て鳴く
塚原 暁益

元旦に今年も参拝無事済ますお祓い受けつつ息災願う
本田富美子

アルジェリアの日揮法人人質の死者の無念を
しみじみ思う
松本ぬい子

「たから箱」去年切り抜く子らの詩に感動し
つつ整理を終える
森田 房恵

独り行く旅の始まり時刻表・地図帳・ガイドブックを開く
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「約束」

裏門に嫌な約束捨てて行く
早 彦喜

長生きを約束した友先に逝く
布田 愛子

約束は口先だけの空手形
古閑チヨミ

歩く約束平行棒を五歩六歩
伊豆野ヤエ

「ほろほろ」

ほろほろと涙こぼれる特攻碑
林 雅之

ほろほろと涙して逢う教え子と
松本ぬい子

ほろほろと涙こぼれる児の弔辞
清川みどり

悔しくて涙ほろほろこぼれ落ち
上村 柳志

登頂してほろほろ汗と涙顔
渡辺 幸士

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447（内線321）